



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第58回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第58回全国研究発表大会を、平成29年5月27日(土)、28日(日)に東京経済大学(国分寺キャンパス)で開催いたします。キャンパスは、東京駅よりJR中央線特別快速で30分程の国分寺駅より徒歩十数分にあります。充実した研究報告やチュートリアル・基調講演に皆様が心地よく参加できるよう準備しております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

開催日：平成29年5月27日(土)～28日(日)

開催場所：東京経済大学 国分寺キャンパス 〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

交通アクセス <http://www.tku.ac.jp/access/kokubunji/>

連絡先：実行委員長 若尾 良男(東京経済大学) wakao@tku.ac.jp

主催：日本経営システム学会

統一論題：「IoTと経営システム」

基調講演：「IoT、AI、ビッグデータに関する経済産業省の取組について」

経済産業省商務情報政策局情報経済課長 佐野 究一郎 氏

チュートリアルセッション：「ERPを利用した大学教育」(5月28日14:00～15:00開催)岡崎一浩氏(R+ERP経営研究部会)。参加希望者は無線LAN対応のパソコンをご持参ください。(先着20名)です。詳しくは学会Webをご参照ください。

参加費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員6,000円、非会員学生4,000円、(当日支払は各1,000円高)

懇親会費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員5,000円、非会員6,000円(当日支払各1,000円高)

昼食：大学生協食堂が27日土曜日は開いていますが、28日日曜日は閉店です。国分寺駅ビル1F・地下に食品売場があり、駅から大学までの徒歩経路上に3つのコンビニエンスストア(国分寺駅構内のNewDays、途中にミニストップとセブンイレブン)や幾つかの飲食店があります。

懇親会場：進一層館ロビー

宿泊：国分寺駅北口にビジネス千成ホテル、南口にホテルメッツ国分寺とビジネスホテルダイワがあります。その他にも、中央線沿線に多数のホテルがあります。

※近年、外国人観光客増加により国分寺市内のホテルの宿泊料が高騰し予約も難しくなっております。各自で早めの手配をお願いいたします。

参加申込：本JAMS NEWSに同封の振込用紙またはHPの振込方法を参考に上記金額を5月19日(金)までにお振込み下さい。期限後に振込まれた方は、振込の控えまたはコピーをお持ち下さい。

■会場設備について

全ての発表会場にPC(Windows, MS-Office)とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用下さい。データはUSBメモリーに入れてお持ち下さい。特殊なソフトをご使用の場合は、ノートPCをお持ち込みも可能ですが、コネクタ接続など準備に時間がかかりますので、ご注意ください。

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与して

- います。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい(もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい)。
- ・学生セッションの発表は、正会員(一般的には指導教員)との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
 - ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
 - ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
 - ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とします。

■大会会場へのアクセス

国分寺駅からのアクセス:

- ・JR中央線「新宿駅」から「特別快速」電車で、「国分寺駅」まで約21分、「快速」電車で31分です。
- ・JR中央線、西武国分寺線・多摩湖線「国分寺駅」南口より徒歩12分です。

※タクシー利用の場合は、東北門へお回りください。



バスでお越しの方:

- ・京王線「府中」駅下車、京王バス「国分寺駅南口」行き終点より徒歩12分です。
- ・JR中央線「武蔵小金井」駅下車北口5番のりば、京王バス「小平団地」行きに乗り、JR車庫前下車徒歩3分です。
- ・JR中央線「武蔵小金井」駅下車南口4番のりば、京王バス「西之久保循環」に乗り、経大前下車徒歩1分です。

※本数は1時間あたり平日・土日とも2本です。

交通アクセス <http://www.tku.ac.jp/access/kokubunji/>

■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>)に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と口頭発表の資格: 一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、学生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。ただし、学生セッションの単独発表は、正会員の学生に限ります。また、いずれのセッションにおいても、連名発表の場合、口頭発表者をファースト・オーサーとしてください。
2. 学生会員の口頭発表条件: 学生会員は、学生セッションで正会員との連名で口頭発表する事ができます。
3. 連名者の資格: 研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。
4. 発表件数の制約: 同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。
5. 口頭発表者の参加費支払い: 口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。
6. 参加費の返還について: 既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。
7. 発表のキャンセルと欠席: 大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。また、連名発表でファースト・オーサーが病気や事故等やむを得ない理由で口頭発表できない場合は、大会実行委員長もしくは司会者に相談し承諾が得られれば、連名者が代わりに口頭発表できるものとします。

第58回 日本経営システム学会 全国研究発表大会 プログラム
(開催日：平成29年5月27日(土)、28日(日) 会場：東京経済大学国分寺キャンパス)

統一編題：「IoTと経営システム」

【5月27日(土)】 受付開始 10:00～ (場所：本棟6号館3階 ロビー)

時間	6号館3階 F309教室	休	休
10:30~11:00	評議員会		
11:00~11:10	理事会		
11:10~12:10	各種委員会(各別当教室)		
12:10~12:40			

時間	連一階ホール	休	休
12:50~12:55	実行委員総務係 若尾 良男 会長係 愛知工業大学 小田 哲久 会長係 愛知工業大学 小田 哲久		
12:50~13:50	総会		
13:50~14:00	表彰式		
14:05~14:05			
14:05~15:05	基調講演：IoT、AI、ビッグデータに関する経営産業者の取組について 経済産業省情報政策局情報経済部長 佐野 孝一郎 氏		
15:05~15:20			

時間	A会場 (一般：6号館3階 F301教室)	B会場 (一般：6号館3階 F302教室)	C会場 (一般：6号館3階 F303教室)	D会場 (一般：6号館3階 F304教室)	E会場 (一般：6号館3階 F305教室)	F会場 (学生：6号館3階 F306教室)	G会場 (学生：6号館3階 F307教室)
15:20~15:50	統一編題： 観光IoTイノベーションによるサービス生産性の定量的評価モデル * (株)エヌケイアス 佐久間 肇	経営品質科学研究部会： 山梨県における市町村合併と2段階の商工委会合併アプローチ * 山梨学院大学 金子 勝一 明治大学 山下 洋史	宮崎市における地方公営企業の今後の展開 * 宮崎産業経営大学 森田 武二	* ハナノカ(株) 大塚大学 渡辺 利幸 兵庫県立大学 上西 啓介 立命館大学 長野 寛之 立命館大学 石田 修一	(一般：6号館3階 F305教室) 人とロボットの協働職場における要員スケジューリング * 近畿大学 谷崎 隆士 立命館大学 新村 猛	(学生：6号館3階 F306教室) 精神科治療におけるSS利用の意識と有用性 * 早稲田大学 松本 博康 早稲田大学 大野 高裕	(学生：6号館3階 F307教室) 日本企業のアーバンイノベーションとパフォーマンスの成功との関係性に関する研究 * 東北大学 王 雷 東北大学 長平 彰夫
15:50~16:20	統一編題： IoTの進展と消費者の情報化によるサービスイノベーションの質的比較研究 サービスマイニングをもとにした戦略形成分析 * 横浜商科大学 金森 孝浩	経営品質科学研究部会： 2類型 principal pointsによる日本のBRRの分類 * 明治大学 山下 浩史 明治大学 橋 善博 山梨学院大学 金子 勝一 上智大学 山下 遼	多様な起業プロセスによる産業活性化 * 高知工科大学 難波 和秀	生産スケジューム改善サイクルの納期尺度への効果 * 大阪工業大学 相原 正次 立命館大学 久納 諒司 立命館大学 小田 哲明	生産スケジューム改善サイクルの納期尺度への効果 * 大阪工業大学 相原 正次	精神科治療におけるSS利用の推進 * 早稲田大学 松本 博康 早稲田大学 大野 高裕	ブルーオーシャン戦略の検証 - iPhoneの事例から - * 西南学院大学 パークレー マッシュュー
16:20~16:35	統一編題： IoTの進展と消費者の情報化によるサービスイノベーションの質的比較研究 サービスマイニングをもとにした戦略形成分析 * 横浜商科大学 金森 孝浩	経営品質科学研究部会： 山梨県における市町村合併と2段階の商工委会合併アプローチ * 山梨学院大学 金子 勝一 明治大学 山下 洋史	宮崎市における地方公営企業の今後の展開 * 宮崎産業経営大学 森田 武二	* ハナノカ(株) 大塚大学 渡辺 利幸 兵庫県立大学 上西 啓介 立命館大学 長野 寛之 立命館大学 石田 修一	(一般：6号館3階 F305教室) 人とロボットの協働職場における要員スケジューリング * 近畿大学 谷崎 隆士 立命館大学 新村 猛	(学生：6号館3階 F306教室) 精神科治療におけるSS利用の意識と有用性 * 早稲田大学 松本 博康 早稲田大学 大野 高裕	(学生：6号館3階 F307教室) 日本企業のアーバンイノベーションとパフォーマンスの成功との関係性に関する研究 * 東北大学 王 雷 東北大学 長平 彰夫
16:35~17:05	統一編題： IoTの進展と消費者の情報化によるサービスイノベーションの質的比較研究 サービスマイニングをもとにした戦略形成分析 * 横浜商科大学 金森 孝浩	経営品質科学研究部会： 山梨県における市町村合併と2段階の商工委会合併アプローチ * 山梨学院大学 金子 勝一 明治大学 山下 洋史	宮崎市における地方公営企業の今後の展開 * 宮崎産業経営大学 森田 武二	* ハナノカ(株) 大塚大学 渡辺 利幸 兵庫県立大学 上西 啓介 立命館大学 長野 寛之 立命館大学 石田 修一	(一般：6号館3階 F305教室) 人とロボットの協働職場における要員スケジューリング * 近畿大学 谷崎 隆士 立命館大学 新村 猛	(学生：6号館3階 F306教室) 精神科治療におけるSS利用の意識と有用性 * 早稲田大学 松本 博康 早稲田大学 大野 高裕	(学生：6号館3階 F307教室) 日本企業のアーバンイノベーションとパフォーマンスの成功との関係性に関する研究 * 東北大学 王 雷 東北大学 長平 彰夫
17:05~17:35	統一編題： IoTの進展と消費者の情報化によるサービスイノベーションの質的比較研究 サービスマイニングをもとにした戦略形成分析 * 横浜商科大学 金森 孝浩	経営品質科学研究部会： 山梨県における市町村合併と2段階の商工委会合併アプローチ * 山梨学院大学 金子 勝一 明治大学 山下 洋史	宮崎市における地方公営企業の今後の展開 * 宮崎産業経営大学 森田 武二	* ハナノカ(株) 大塚大学 渡辺 利幸 兵庫県立大学 上西 啓介 立命館大学 長野 寛之 立命館大学 石田 修一	(一般：6号館3階 F305教室) 人とロボットの協働職場における要員スケジューリング * 近畿大学 谷崎 隆士 立命館大学 新村 猛	(学生：6号館3階 F306教室) 精神科治療におけるSS利用の意識と有用性 * 早稲田大学 松本 博康 早稲田大学 大野 高裕	(学生：6号館3階 F307教室) 日本企業のアーバンイノベーションとパフォーマンスの成功との関係性に関する研究 * 東北大学 王 雷 東北大学 長平 彰夫

17:15~17:45	情報開示がテレレシヨナル・アセツト特化型UIに与える影響	*早稲田大学 早稲田大学	右橋 俊毅 大野 高裕	17:15~17:35	情報開示がテレレシヨナル・アセツト特化型UIに与える影響	*早稲田大学 早稲田大学	右橋 俊毅 大野 高裕
17:45~19:30	休 題 親 会 (連一原館ロビー)						

[5月28日(日) 午前] 受付開始 9:00~ (場所: 本館6号館3階 ロビー)																	
9:30~10:00	A会場 (一般: 6号館3階 F301教室) 拡張空間モデルを用いた研究開発による経済への影響の時系列的検証	河合 敏治 長平 彰夫	* 東北大学 東北大学	C会場 (一般: 6号館3階 F302教室) 編隊でのOAS活動参加における組織的課題の探求的検討	西平 守秀	* 立命館大学	D会場 (一般: 6号館3階 F304教室) ドミナント・プラットフォーム製品がもたらぬなし経営企業運のビジネス事例に基づく数量化分析とクラスタ分析	片岡 隆之 高山 智行 近藤大学 近藤大学	E会場 (一般: 6号館3階 F305教室) 企業間の感情と関係性から得られる印象との関係性を考慮したレコメンデーションモデルの構築	* 青山学院大学 青山学院大学 青山学院大学	F会場 (学生: 6号館3階 F306教室) 顧客の感情と関係性から得られる印象との関係性を考慮したレコメンデーションモデルの構築	* 青山学院大学 青山学院大学 青山学院大学	G会場 (学生: 6号館3階 F307教室) 体感温度と女性指紋がAS利用者に与える影響と利用者数予測	* 工学院大学 工学院大学	中藤 昇 三木 良雄		
10:00~10:30	コンジョイント分析の回答方法が回答率と部分効用値の推定に及ぼす影響に関する研究	有馬 昌宏	* 兵庫医科大学	雇用の変異性が企業の生産性に与える影響についての考察	榎公 隆史 平田 貞代	* Pro-SPIRE 芝浦工業大学	PROCESを利用したアウェアランスウェア拡張方法の提案	出版データに関する統計と分析アプリケーション	* 横浜国立大学 横浜国立大学	永松 陽明 柳田 義雄	* 近畿大学 近畿大学 近畿大学	* 工学院大学 工学院大学	神谷 知貴 三木 良雄				
10:30~10:45	看護職者のリスク感度尺度の因子構造と信頼性の検証	相澤 佐希子 上原 篤 山下 洋史	* 修武大学 愛知学院大学 明治大学	自治体経営へのOAS導入に向けた課題整理と解決策に関する研究	丸山 恭司	* 愛知工業大学	ベンチャー企業によるビジネスエコシステム形成の成功要因に関する事例分析	わが国の地方都市における産業集積に関する一考察 -熊本県人吉市地方の県産産業の現状と課題-	* 東海大学 東海大学 東海大学	三村 健斗 森山 弘海 水野 浩孝	* 東海大学 東海大学 東海大学	関根付き多品目在庫運搬経路問題に對する列生成法	* 青山学院大学 青山学院大学 青山学院大学	井川 奨 藤 敏 熊谷 敏			
11:15~11:45	震災復興支援のためのオーファンデータを活用したシステム構築	益満 環	* 石巻専修大学	航空旅客運送事業の信用リスクに影響を与える経営指標抽出	永井 希依彦 栗林 泰 栗 重明	* 立命館大学 立命館大学 立命館大学	産学連携を活用したオーファンインノベーションに関する考察	IT利活用を背景とした中小製造業の母生に関する事例研究	* 横浜国立大学	三浦 達也	* 横浜国立大学	重口ロコミに對する返信の基調性がサービスの満足度評価に与える影響の分析	* 法政大学 法政大学	木暮 美菜 藤上 茂光	国内8国立大学における中心的研究者として9つの枠組みの関係に関する一考察 - 共著関係の中心性に着目したネットワーク分析 -	* 日本大学 日本大学	大和 尚弥 水上 祐治
11:45~12:45	休 題 (各部署委員)																

【5月28日（日）午後】 12:45～

12:45～13:15	<p>A会場 （一般：6号館 3階 F301教室） 日本経営システム学会に関する研究 - 公開データによる分析と、企業アンケータからの分析</p> <p>* 愛知工業大学 小田 哲久</p>	<p>B会場 （一般：6号館 3階 F302教室） 経営品質科学研究部会：飲食店における地理的コンセンサの外部化戦略に関する分析モデル</p> <p>* 明治大学 権 善喜</p>	<p>C会場 （一般：6号館 3階 F303教室） ホットグループと研究テーマ動出一組継続ルーティンがホットグループを育む</p> <p>* 立命館大学 岩崎 之朗 立命館大学 名取 隆</p>	<p>D会場 （一般：6号館 3階 F304教室） 事業部制採用企業の共通資本コストと買収EVAによる経営管理</p> <p>* (株)LIXIL 藤原 大豊</p>	<p>E会場 （一般：6号館 3階 F305教室） がんに対する一般市民の意識調査からのがん対策へのアプローチ</p> <p>* 立命館大学 児玉 耕大 立命館大学 高本 亮次 立命館大学 牧野 智宏 立命館大学 Abedin 鹿児島県立短大 Kna Luneljad 立命館大学 竹本 真秋</p>
13:15～13:45	<p>共有可能な文獻PDFデータベースシステムの開発</p> <p>* 神戸学院大学 林坂 弘一郎</p>	<p>経営品質科学研究部会：上司による部下の情報管理行動が部下の組織態度に与える影響に関する帰帰的媒介効果 - 情報コミュニケーションの観点からの組織心理学的構築に向けて -</p> <p>* 横浜商科大学 東海 詩帆 * 横浜国立大学 藤 祐司</p>	<p>新規市場技術確立における政府支援の役割の研究</p> <p>* 横浜国立大学 永松 陽明 東京工業大学 藤 祐司</p>	<p>有効情報による成熟製品の開発手法の研究</p> <p>* 日本文理大学 泉 丙亮</p>	<p>再生医療の実用化に関する技術特性と経済性の検討</p> <p>* 立命館大学 児玉 耕大 立命館大学 佐藤 碧樹 東京工業大学 仙石 慎太郎</p>
13:45～14:00	<p>A会場 （一般：6号館 3階 F301教室） クラウドリアルセッション：EPAを利用した大学教育</p> <p>* 愛知工業大学 岡崎一浩</p>	<p>B会場 （一般：6号館 3階 F302教室）</p>	<p>C会場 （一般：6号館 3階 F303教室） 二元代表制における自治体の運営のあり方</p> <p>* 東京工業大学 本田 正義</p>	<p>D会場 （一般：6号館 3階 F304教室） 太陽光発電事業経営自動化の試み</p> <p>* 中央学院大学 浅井 達雄</p>	<p>E会場 （一般：6号館 3階 F305教室）</p>
14:00～14:30	<p>A会場 （一般：6号館 3階 F301教室） クラウドリアルセッション：EPAを利用した大学教育</p> <p>* 愛知工業大学 岡崎一浩</p>	<p>B会場 （一般：6号館 3階 F302教室）</p>	<p>C会場 （一般：6号館 3階 F303教室） ICTを活用した国際交流の実践に関する検討 - Skypeを活用した国際交流の国際志向性への影響 -</p> <p>* 早稲田大学 澤口 学 * ハナフナ(株) 東洋学園大学 田平 由弘 後藤 智</p>	<p>D会場 （一般：6号館 3階 F304教室）</p>	<p>E会場 （一般：6号館 3階 F305教室）</p>
14:30～15:00					

平成 28 年度第 3 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2016 年 10 月 15 日（土） 11:00～12:30
- II. 開催場所：札幌大学 6 号館 1F 6102 教室
- III. 出席者：小田、浅井、山下、椎原、石田、今井、上原、金子、川中、今野、佐々木、鄭、田畑、毛利、柳田、木全、近藤、塩出、島田、西口、野々山、原田、深澤、松岡
（監事）石井、松丸 （オブザーバー）堀江、若尾 （敬称略）
- IV. 審議事項
 1. 第 57 回全国研究発表大会の準備状況について（堀江）：発表件数（87 件）、参加人数（120 名、事前申込み）等が報告され、承認された。
 2. 平成 28 年度第 2 回理事会議事録の確認（上原）：2016 年度（平成 28 年度）第 2 回理事会議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
 3. 会員の入退会について（上原）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、2016 年 10 月 11 日現在、正会員 514 名、学生会員 131 名となった。
 4. 第 58 回国研究発表大会の準備状況について（若尾）：統一論題（IoT と経営システム）、基調講演、開催日（2017 年 5 月 27 日・28 日）、開催場所（東京経済大学 国分寺キャンパス）、発表申込（2017 年 3 月 31 日）、原稿締切（2017 年 4 月 21 日）、実行委員会の構成、チュートリアル・セッション等、大会準備および日程の案が説明され、承認された。
 5. 59 回全国研究発表大会の準備状況について（佐々木）：開催日（2017 年 10 月 28 日・29 日）、開催場所（星城大学）、発表申込（2017 年 8 月 25 日）、原稿締切（2017 年 9 月 29 日）等、大会準備および日程の案が提案され、承認された。また、第 60 回全国研究発表大会（2018 年春季）の開催校の検討と、次回理事会への野村先生（第 59 回全国研究発表大会 実行委員長）の参加に対する要望があった。
 6. 役員選出のスケジュールについて（松岡）：候補者推薦書提出締め切り（12 月 16 日）、投票締め切り日（1 月 20 日）、会長選挙（2 月中旬）等、役員選挙のスケジュール案が提案され、承認された。また、永松先生から佐々木先生に役員選出委員を変更することが提案され、承認された。そして役員候補者推薦の迅速化に対する前回理事会の方針が再確認された上で、役員選挙の告示案が提案され、承認された。
 7. 学会賞・論文奨励賞の選考手続きについて（深澤）：他薦・自薦の導入と、年度単位から年単位への表彰時期の変更が提案され、承認された。
 8. 会員名簿改正について（柳田）：会員名簿の改正案が提出され、承認された。また、会長を中心に会員の学会活動の実態をアンケート調査し、副会長・総務委員長・組織委員長とアンケート内容について調整していくことを決めた。
- V. 報告事項
 1. 平成 28 年度他学会シンポジウム等協賛関連（上原）：経営情報学会、モバイル学会、情報システム学会、日本学術会議との協賛について報告がなされた。
 2. 表彰委員の増員について（山下）：大会によっては学生発表の件数が多いために表彰委員の負荷が大きいことが指摘され、来期は表彰委員数を増やすことが了承された。
 3. シニア会員制度について（小田）：シニア会員制度は、組織委員会で継続審議となっているが、制度の新設には時間がかかり、団塊の世代の退職に間に合わないことから、別途高齢者への会費割引（半額）を検討することが提案され、継続審議となった。

学会役員（被選出常任理事および会長）の選挙結果報告

役員選出委員会 委員長 松岡 公二

会員の皆様には被選出常任理事選挙にご協力いただき、誠にありがとうございました。

昨年 11 月に被選出常任理事選挙の告示を行い、候補者の届出を締め切りましたところ 14 名の届出となりました。常任理事の定数（15 名）に達しませんでしたので、信任投票を実施いたしました。

信任投票は 2017 年 1 月 20 日（当消印有効）に締め切り、1 月 26 日（木）学会事務局にて、深沢琢也（東京富士大学）、臧巍（青山学院大学）、村山誠（ANA システムズ株）の 3 名の立会の下、開票作業を行いました。有効投票数 170 通（総投票数 172 通）について開票後に集計作業を行い、有効投票数の過半

数をこえる不信任の得票を得た候補者はおりませんでしたので、以下の候補者全員が信任されました。

石田 修一(立命館大学)	板倉 宏昭(香川大学)	川中 孝章(東京大学大学院)
近藤 高司(愛知工業大学)	今野 勤(神戸学院大学)	椎原 正次(大阪工業大学)
塩出 省吾(神戸学院大学)	東海 詩帆(横浜商科大学)	永松 陽明(横浜市立大学)
成川 忠之(東海大学)	西口 宏美(東海大学)	西村 友幸(小樽商科大学)
水上 祐裕(日本大学)	村山 賢哉(共愛学園前橋国際大学)	

(敬称略, 順不同)

その後、上記の被選出常任理事の方々により、郵送投票による会長選挙を実施し、2月23日に学会事務局において深沢琢也(東京富士大学)、村山誠(ANAシステムズ株)の2名の立会いの下、開票作業を行いました。有権者14名中、13名の投票があり、役員選出規程にあります有権者3/4以上の投票数が満たされました。集計の結果、有効投票数の過半数を上回る得票を得ました塩出省吾先生が次期会長に当選されました。

以上の通り被選出常任理事および会長選挙の結果をご報告させていただきます。

JAMS ICBI 2017 国際大会の発表者募集のおしらせ

本学会が主催する国際大会 ICBI2017 の発表者・参加者を募集いたします。奮ってご応募頂けますよう、ご案内申し上げます。

記

開催日：2017年10月28日～30日(予定)

開催場所：星城大学(愛知県東海市富貴ノ台二丁目172番地)

※JAMS 第59回全国研究発表大会と同時開催

発表の条件：経営・システム・情報・管理に係わる内容で未発表のもの。

発表申込締切：2017年5月31日(予定) 表題と要旨。要旨は英文1,000字以内とする。発表の可否は審査により決定される。

採択通知予定：2017年6月30日(予定) 採択論文の口頭発表者は事前参加登録をしなければならない。事前参加登録がない場合は発表をキャンセルする。ファーストオーサーとしての口頭発表は、一人1件までとする。

予稿原稿締切：2017年7月31日(予定) IJAMS の書式で作成する。刷り上がり4頁以上。予稿書式は(<http://www.jams-web.jp/en/ijams.html>)参照。予稿はPDF文書として、大会当日に参加者に配布する。

事前参加登録締切：2017年7月31日(予定)

大会運営委員長：小田哲久(本学会会長、愛知工業大学)

大会実行委員長：柳田義継(横浜商科大学)

実行委員：佐藤修(東京経済大学) 佐々木桐子(新潟国際情報大学) 寺本佳苗(就実大学) 永松陽明(横浜市立大学) 立川大和(リュミスリヒトデザイン) 湊宣明(立命館大学)

問い合わせ先：jams.icbi2017@gmail.com

※詳細は決定次第学会 Web サイトにてお知らせします。

第8回横幹連合コンファレンス オーガナイズドセッション公募のお知らせ

日頃から、横幹連合の諸活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。さて、横幹連合では、第8回の横幹連合コンファレンスを、本年12月2日(土)～3日(日)に、立命館大学朱雀キャンパスにて開催いたします。この度、コンファレンスのホームページを公開いたしましたので、お知らせいたします。詳しくは<http://www.trafst.jp/conf2017/>をご覧ください。

オーガナイズドセッション(OS)提案申し込みは4月3日(月)からすでに受付を開始いたしております。(OS提案申し込み：4月3日(月)～5月27日(土)) 貴学会より多数のOSの企画提案をいただければ、ありがたく存じます。OSのご提案、ご企画はHPより所定の提案書をダウンロードしていただき、

・セッション名 ・提案者 ・セッションの意図(50～100字程度) ・講演者名、講演仮題、連絡先をご記入の上、conf2017@trafst.jpへお送りください。

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2017年5月13日（土） 17:00-19:00

発表予定者：調整中

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

連絡先（幹事）：金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2017年6月3日（土） 14:00-16:00

発表予定者：調整中

開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1号館 3F 1308 教室

連絡先：田畑 智章（東海大学） Tel.03-3441-1171 E-Mail:tabata@tokai-u.jp

金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

東海大学情報通信学部経営システム工学科教員公募のお知らせ

- 採用職種・人員：特任講師または特任助教 1名 常勤（任期あり）
*着任後5か年度以内に、教育・研究業績に応じて専任への任用変更予定
- 所属：情報通信学部経営システム工学科（勤務地：高輪キャンパス）
- 着任時期：2018年4月1日
- 専門分野：システム工学、オペレーションズリサーチ、情報システム工学
- 担当授業科目：システム工学、オペレーションズリサーチ、データベース、プログラミング、コンピュータリテラシー、卒業研究等、ならびに現代教養科目等
- 応募資格：(1)博士の学位（日本における博士の学位と同等と認められる外国の学位を含む）を現に有するか、着任までに確実に取得できること (2)研究業績について、直近の5年間における査読付き学術論文が3件以上あること、又は同等の業績を有すること (3)本学の建学の精神を尊重し、熱意を持って教育にあたることのできること
- 必要提出書類：(1)履歴書（写真貼付）氏名、生年月日、学位称号、本務勤務先および職名、現住所、学歴、職歴、学会および社会における賞罰、資格等を記載すること (2)研究業績リスト 著書、論文、学術集会発表、学協会・教育・啓発活動等を記載（論文と学術集会発表については査読の有無を明記すること） (3)主要な論文3編の別刷またはコピー (4)これまでの研究概要と今後の研究計画（A4用紙2～3枚程度） (5)教育経験と着任後の教育への抱負（A4用紙2～3枚程度）
- 応募締切：2017年8月31日（木）必着
- 書類提出先：〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23 東海大学 情報通信学部 経営システム工学科 主任（封筒に「教員応募書類」と朱書のうえ簡易書留で郵送してください。なお、提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。）
- 選考結果の通知：応募者本人に通知します。
- 問い合わせ：必要な場合は、書類提出先（電話：03-3441-1171）までお問い合わせください。
- その他：選考過程で面接や模擬授業を行うことがあります。

<http://www.jams-web.jp/images/koubotoukai2017.pdf>



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 バラードハイム703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail: keieisys@jams-web.jp